

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	研修体系は整っていると思うが、人材の入れ替えが激しくなかなか定着しない。能力に応じた人材育成にも個人差があり実際のサービス内容に影響が出てしまっている。	介護技術、知識の向上を図り、安定した福祉サービスの提供が出来るようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々のレベルにあわせたOJTの強化。</li> <li>・対象者の客観的な課題分析を行い、強みと弱みを一緒に確認する。</li> </ul>	12ヶ月
2	2	開所して3年間の歩みの中で地域交流も増えてきている。ボランティアの受け入れや小学校との職場体験等、受け身の交流ではなく、施設から発信、出向いて行けるような交流を進めていく。	グループホームおおさが地域から認知され、施設との交流が深まる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会、地区の防災訓練等へ参加する。</li> <li>・スーパー以外にも社会資源を活用して認知度を高めていく。</li> </ul>	12ヶ月
3	48	介護者が居れば外出の頻度はもっと多くなり、気軽に地域交流も図れる機会が増えると思う。	ご利用者の希望にあった外出が出来るようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者一人ひとりがどのような外出を希望しているか確認する。(散歩、ドライブ、買い物、食事)</li> <li>・人材の確保や時間の確保に努め、少人数での外出計画を立てる。</li> <li>・自宅に帰る機会を家族に作ってもらう。</li> </ul>	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。